

平成28年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



平成29年7月  
郡上市役所農林水産部林務課

## 【 目次 】

はじめに	……………	P 1
I. 平成 28 年度の総括	……………	P 4
II. 基本的施策ごとの実施状況	……………	P 6
1. 災害に強い山づくり		
2. 多様性のある山づくり		
3. 快適な森林空間づくり		
4. 木材資源の循環		
5. 森林資源の利用促進		
6. 山を支える人づくり		
7. 地域を支える人づくり		
8. 林業を支える人づくり		
■ 資料 郡上市の森林・林業	……………	P 20

## はじめに

郡上市では、平成22年3月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

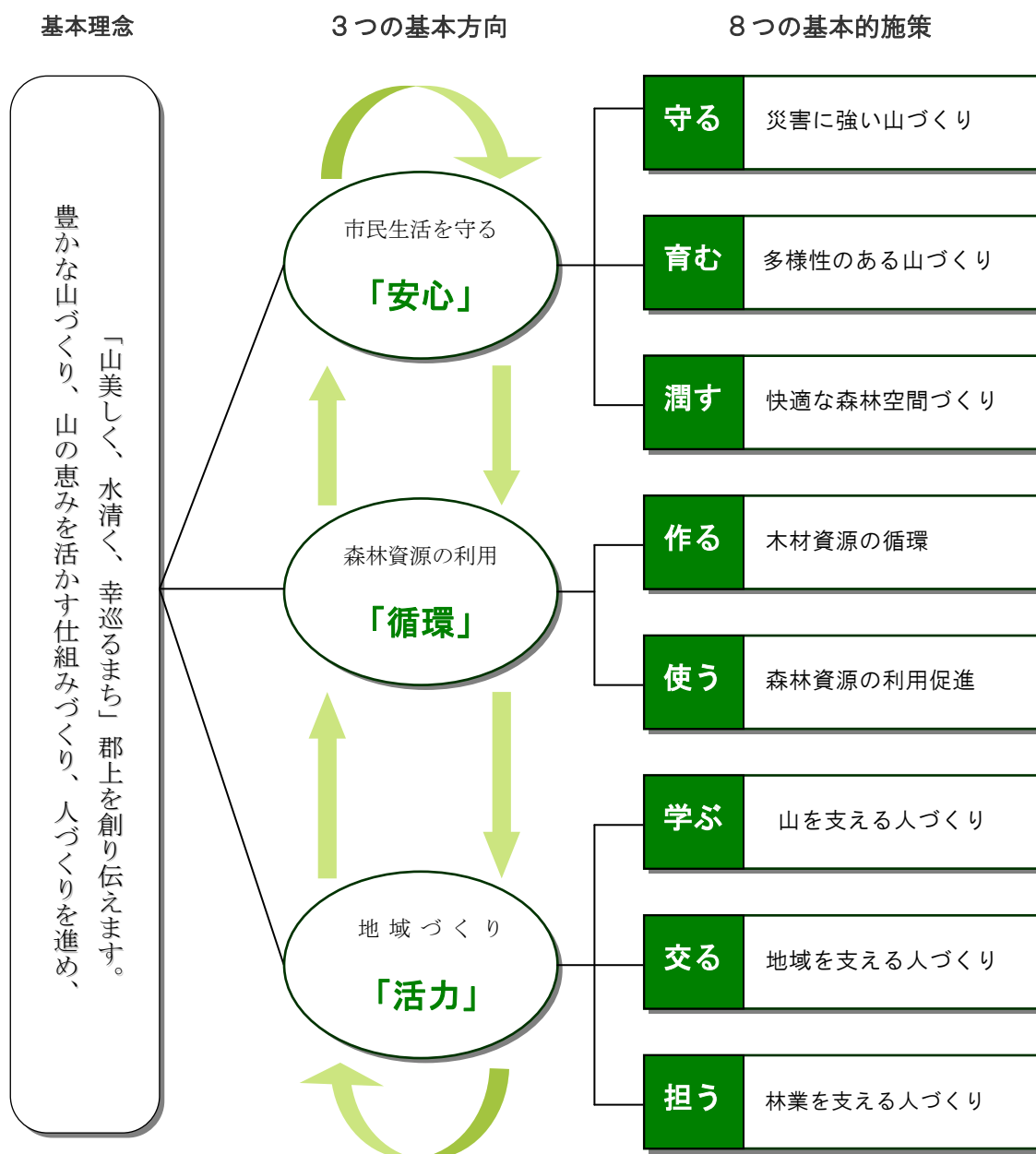
構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の3つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

平成28年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。



## ● 『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

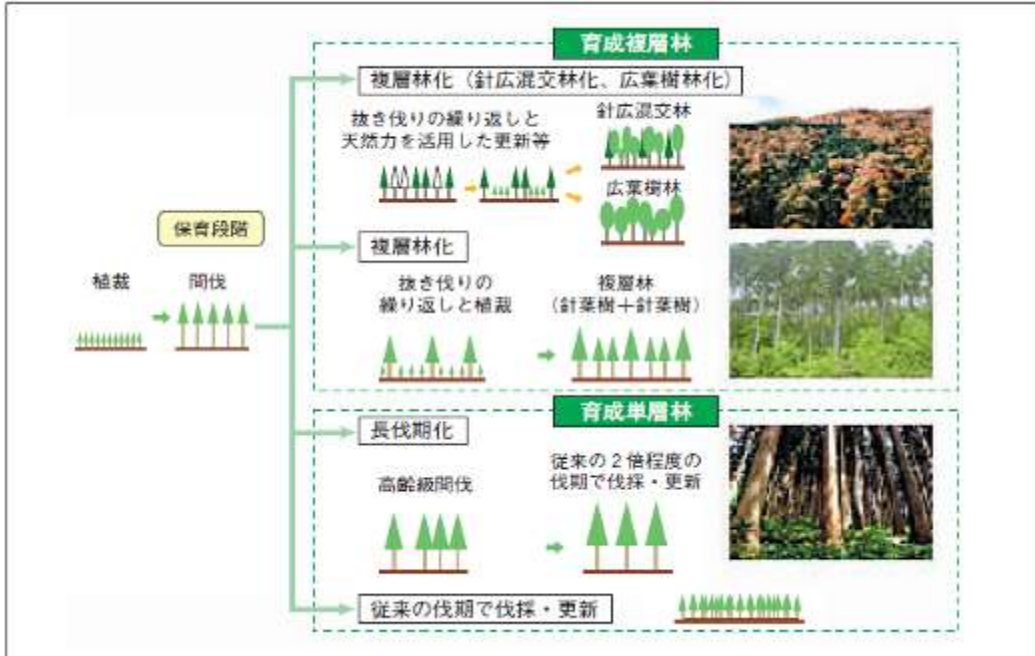
### < 施策体系 >



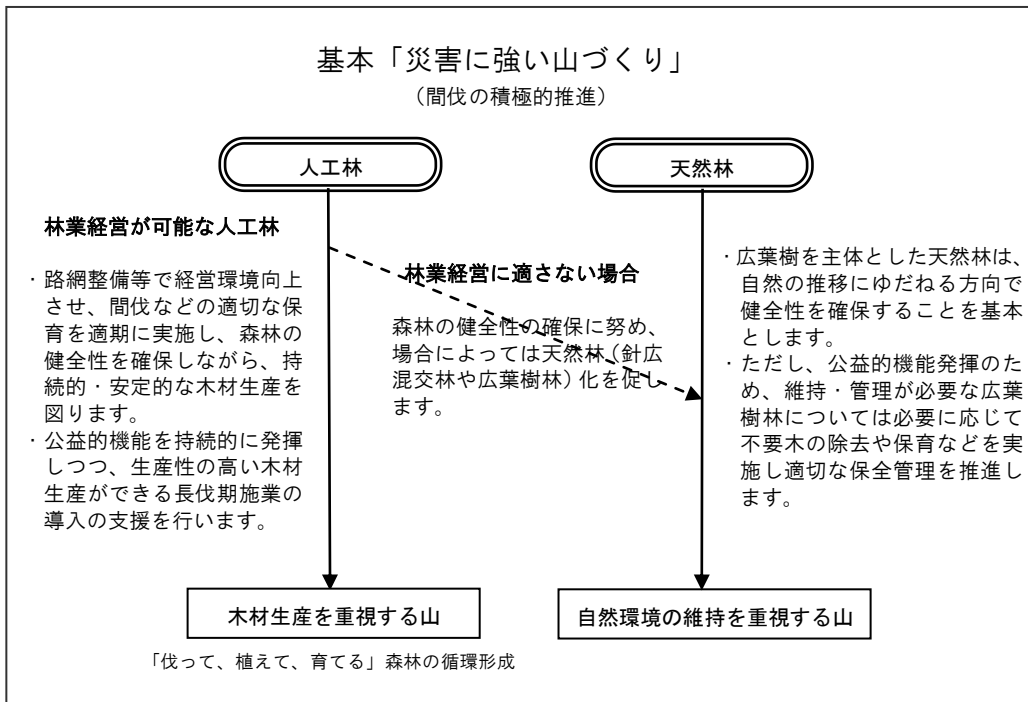
郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく3つの基本方向、8つの基本的施策により山づくりを進めることとしています。

## ●多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



## ●森林整備の基本方向



## I. 平成 28 年度の総括

平成 28 年度は、国において「森林・林業基本計画」が変更され、林業として、国産材の安定供給、木材産業として、消費者・実需者の求める品質・性能の確かな製品等の供給が不十分という課題に対応するため、「資源の循環利用による林業の成長産業化」、「原木の安定供給の構築」、「木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出」が示されました。また、CLT 等新たな木質部材の開発、木質バイオマスの利用など、木材需要の拡大につながる変化、本格的な利用期を迎えた森林資源を活かし、地方創生を図ろうという気運といった情勢の変化に対応し、「林業及び木材産業の成長産業化等による地域創生」、「地球温暖化対策、生物多様性保全への対応」が示されました。

県では、清流の国ぎふ森林・環境税が平成 34 年 3 月まで延長されることが決定されました。また、第 3 期岐阜県森林づくり基本計画が示され、「100 年先の森林づくり」の理念のもと、望ましい森林の姿への配置転換の取組みとして、100 年先を見据えた森林配置へ誘導するため、森林を将来目標区分ごとに区分することになります。この区分ごとに、国県の事業を実施することとなり、森林整備事業は大きな転換を迎えることとなります。

こうした中、郡上市では、森林づくり推進会議の提言を踏まえ、いち早く、森林配置について、ゾーニング検討会議を設け、森林配置の検討を行い郡上独自の森林配置の案を作成しました。

長良川木材事業協同組合製材工場をはじめとした木材需要に対し、市の嵩上げ補助により搬出間伐の促進、素材生産量の増加に引き続き取り組みました。

森林環境の適正な維持管理については、森林・環境税を活用した環境保全林整備事業、里山林整備事業や市単独の小規模森林整備事業により整備を推進しました。

また、植栽木への食害を及ぼすニホンジカ対策として、「森林動物共生サポートセンター」と連携し、林業者との協力による捕獲体制の確立に引き続き取り組みました。

木材利用に関しては、八幡町中野地区集会所の木造化、郡上市産材住宅建設支援など地域産材を利用した木造建築の推進や、木質燃料ストーブ購入への支援など、木質バイオマス利用の推進を図ってきました。

また、ブラザー工業㈱が平成 20 年から行っている企業との協働による森林づくりの植樹活動と共同で開催した「郡上市みどりの祭り」や森林・林業の担い手育成のための森林・林業人材育成事業により森林を守り育てることの大切さの普及・啓発に努めました。

### ①郡上市森林ゾーニング検討会議の開催

・郡上市森林づくり推進会議の市長提言に基づき、市内の森林施業プランナー等を委員とする「郡上市森林ゾーニング検討会議」を7回開催し、「木材生産林」と「環境保全林」を客観的指標による区分案の作成と区分の決定手順について検討しました。

検討内容については、「郡上市森林ゾーニングに関する検討報告書」にまとめました。



ゾーニング区分案

### ②公共施設の木質化・木造化の推進

・公共施設の木質化・木造化を図りました。

■八幡町 中野地区集会所



中野地区集会所

### ③間伐材利活用－YUMEITA

・間伐材を利活用した、既存の学童机に脱着式で設置する保護天板「YUMEITA」が、Forest Good 2016～間伐・間伐材利用コンクール～製品づくり・利用部門で間伐ネット会長賞を受賞しました。



YUMEITA

### ④低コスト造林の検証

・将来に亘る森林の多面的機能の維持及び持続的に木材資源を利用していくために、皆伐地における再造林・保育経費の低コスト化を検証・評価する事業（主伐・再造林実証事業）を平成28年度から平成38年度にかけて実施することとしました。

平成28年度は、古道市有林1.55haを皆伐し、852m<sup>3</sup>を搬出したほか、枝葉等161tが木質バイオマス燃料として搬出されました。



古道市有林

## Ⅱ. 基本的施策ごとの実施状況

8つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

守る

### 1. 災害に強い山づくり

#### ① 間伐の積極的推進

##### ■ 間伐の推進

平成28年度の郡上市全体の間伐面積は1,246haで、その内の608haの間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。

平成27年度から利用間伐について1haあたり60m<sup>3</sup>以上搬出した箇所については、嵩上率を90%まで引き上げたことにより、利用間伐は前年より176ha増加し、40,100m<sup>3</sup>の木材を搬出しました。利用間伐に適さない森林については、森林・環境基金事業を利用して349haの伐捨間伐を実施しました。

(造林推進事業、森林・環境基金事業)

実績

単位：ha

年度	H24	H25	H26	H27	H28
間伐	1,976	1,435	1,103	1,346	1,545
うち利用間伐	568	654	575	808	984
うち補助対象面積	851	535	466	561	608

※伐採届、補助実績より

##### ■ 森林整備事業の実施

植林、保育など森林整備に関する事業に対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。(造林推進事業)

施業	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績
植林	18.29ha	12.12ha	13.32ha	39.80ha	24.36ha
下刈り	81.61ha	79.51ha	96.60ha	101.87ha	106.25ha
雪起し	46.83ha	51.45ha	65.86ha	77.74ha	58.52ha
除伐	27.84ha	8.23ha	12.45ha	16.34ha	4.46ha
枝打ち	48.74ha	2.57ha	24.60ha	0.00ha	6.92ha



## ② 違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

### ■ 伐採届に対する指導

地域森林計画の対象になっている森林の伐採について、平成 28 年度は 229 件の伐採届（森林法第 10 条の 8）を受理し、届出者に対して伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

### ■ 郡上市皆伐施業ガイドラインの周知

伐採届（森林法第 10 条の 8）の受理時に、皆伐する届出者に対して、郡上市皆伐施業ガイドラインの周知を行いました。1ha 以上の皆伐について、平成 28 年度は 14 件（うち 15 条は 6 件）のガイドラインによる届出を受理し、県・市担当者で、現場において、伐採方法、造林方法等について指導を行いました。また、郡上市素材生産技術協議会において、林業事業者向けに説明を行い、ガイドラインに沿った適切な施業を実施していただくよう周知しました。

### ■ 皆伐跡地の調査

皆伐跡地の植生回復状況を把握するため、6 月から 9 月にかけて県・市担当者、岐阜県森林研究所研究員及び森林動物共生サポートセンターにより、市内 4 地域、13 箇所において調査を実施しました。

また、調査結果をまとめ、平成 28 年度版「皆伐跡地調査報告書」を作成しました。



プロット調査の様子

## ③ 保安林と治山事業

### ■ 保安林

保安林内間伐届出書を 87 件受理し、届出者に伐採方法等について指導を行いました。

### ■ 治山事業の実施

県では、山地災害により被災した箇所の早期復旧のため、災害発生から概ね 3 年以内に、復旧対策の完了を目標としています。市内においては、復旧治山事業など 29 箇所（委託 1 箇所含む）が施工されました。



集落環境保全整備事業（大和町牧地内）

## 治山事業実施状況

事業名	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	H28 実績
復旧治山事業	7 箇所	8 箇所	4 箇所	4 箇所	6 箇所
緊急予防治山事業					1 箇所
予防治山事業	13 箇所	13 箇所	8 箇所	5 箇所	6 箇所
奥地保安林保全緊急対策事業	2 箇所	3 箇所	2 箇所	1 箇所	2 箇所
東海北陸自動車道土砂流出対策事業	4 箇所	-箇所	- 箇所	- 箇所	- 箇所
県単治山事業	9 箇所	3 箇所	8 箇所	7 箇所	7 箇所
集落環境保全整備事業	2 箇所	1 箇所	3 箇所	8 箇所	6 箇所
					(委託 1 箇所)
	37 箇所	35 箇所	25 箇所	25 箇所	29 箇所

※緊急予防治山事業は平成 28 年度からの事業です。

※集落環境保全整備事業は、県からの補助金で市が実施する事業です。

## 育む

## 2. 多様性のある山づくり

### ① 森林整備の考え方

#### ■ 『森林配置計画』の策定について

県では、平成 29 年度からの「第 3 期岐阜県森林づくり基本計画」において、「森林配置計画」を策定することとしました。

これは、100 年先に向けて望ましい森林の姿へ配置を見直すために「木材生産林」、「環境保全林」、「観光景観林」、「生活保全林」の 4 つの望ましい姿を設定するもので、客観的指標と地域の実情を踏まえて民有林を対象に策定していきます。

#### ■ 郡上市森林整備計画

平成 28 年 4 月を始期とする郡上市森林整備計画について、主に以下の内容について変更しました。

- ・「森林配置計画」に基づいて「将来目標区分」を設定。
- ・鳥獣害を防止するための措置を実施すべき森林の区域の設定。

## ■ 郡上市森林ゾーニングに関する検討

郡上市森林づくり推進会議の市長提言に基づき、市内の森林施業プランナー等を委員とする「郡上市森林ゾーニング検討会議」を7回開催し、「木材生産林」と「環境保全林」を客観的指標による区分案の作成と区分の決定手順について検討しました。

検討内容は、「郡上市森林ゾーニングに関する検討報告書」にまとめ、市長報告を行いました。



検討会議の様子

## ■ 森林経営計画の作成推進

森林経営計画は、区域計画への移行も含め、平成28年度までに、144件、23,618haの森林経営計画が認定されました。また、森林整備地域活動支援交付金事業等により、森林経営計画の作成や間伐等の施業の促進について支援しました。(森林整備地域活動支援交付金事業)

### 経営計画実績

	H25	H26	H27	H28
認定件数	46件	28件	21件	11件
面積	6,132 ha	2,998ha	2,006ha	932ha

### 森林整備地域活動支援交付金事業実績

	H24	H25	H26	H27	H28
協定数	10件	1件	6件	3件	3件
対象森林面積	16,581 ha	56ha	6,415ha	6,127ha	5,808ha

## ■ 岐阜県水源地域保全条例の運用

県において、公共の用に供する水源に係る取水地点及びその周辺区域で、水源の保全のために適正な土地利用を図る必要があると認める地域を水源地域として指定しています。平成28年度は、郡上市水道事業基本計画に基づいた水道施設の整備が進められたことにより、高鷲町の猪洞浄水場を新たに水源地域として指定し、八幡町の小瀬子浄水場、大和町の場皿水源については指定の解除を提案し、平成29年6月27日付けで変更されました。また、水源地域内の土地で、所有権（相続を除く）、地上権、地役権、使用貸借による権利、賃借権の移転または設定に係る契約を締結する場合は、その契約の30日前までに県への事前の届出が必要です。平成28年度は9件受理し、県より、届出者に対して、基本方針及び市の意見を勘案して、その土地の利用の方法等に関する助言・指導を行いました。

## ② 森林情報の整備

### ■ 所有者届出制度の運用

森林法の改正により、平成 24 年 4 月以降義務付けられた、森林の土地の所有者届について、平成 28 年度は 265 件の届出を受理しました。また、岐阜県行政書士会郡上支部・岐阜県司法書士会八幡支部合同研修会において、行政書士、司法書士のみなさんに届出制度の内容について再度説明を行い、理解を深めていただきました。一方、引き続き、届出がされていない人へ直接、提出を促すことにより、未届者の減少につなげることができました。

	H25	H26	H27	H28
届出 件数	204 件	159 件	224 件	265 件

### ■ 境界明確化事業の推進

森林境界が不明確なため森林整備が進んでいない森林において、森林施業地の集約化の拡大を図るため 2 件 246ha の境界明確化を行いました。

	H24	H25	H26	H27	H28
境界明確化 実施面積	24ha	274 ha	309ha	168ha	246ha

潤す

## 3. 快適な森林空間づくり

### ■ 居住地周辺の整備

#### 【森林山村多面的機能発揮対策事業】

平成 25 年度に創設されたこの事業を 3 地域 3 団体が活用し、約 20ha の里山整備を行いました。この事業は地域住民が中心となった民間協働組織が実施する里山林等の保全管理等の取組に対して、一定の費用を国が助成するもので、森林の有する多面的機能の持続的な発揮と、地域力の向上を通じ市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。

実績

	H27	H28
活動団体	8 団体	3 団体
対象面積	54.60ha	19.84ha
活動内容	下刈・雑木の伐採及び集積・作業路の作設及び補修・森林環境教育など	



森林環境教育（八幡町地内）

### 【小規模森林整備事業】

面積が小規模であることなどから、国県の補助事業の対象とならない森林整備に対し 27 件、20.62ha に助成を行い森林の育成や保全を図りました。平成 27 年度から対象面積を 0.05～3ha 以下に拡大したこと、また森林所有者への周知がすすんだことにより、実績が大幅に伸びました。

#### 小規模森林整備事業 実績

内容	H25	H26	H27	H28
申請件数	9 件	8 件	19 件	27 件
雪起し・植栽 間伐・下刈り	3.5ha	1.76ha	13.37ha	20.62ha



間伐状況（美並町地内）

### ■ 緑化への支援

面積が小規模であることなどから国・県の補助事業の対象とならない公共用地等の緑化に対して、緑の募金事業等を活用して 9 件の緑化事業のために必要な苗木の支援等を行いました。



植栽状況（牡丹園（大和））

## ② 鳥獣害対策

### ■ 鳥獣害対策の推進

平成 27 年度に立ち上げた「森林動物共生サポートセンター」と連携し、林業者と協力したニホンジカの捕獲体制の確立へ向け、引き続き取組ました。



カラス用囲いわな（八幡町）

### 【捕獲対策】

鳥獣被害防止総合対策緊急捕獲支援事業、森林・環境税を活用したニホンジカの個体数調整により、被害が多発しているニホンジカ等の捕獲に努めました。結果、捕獲数は前年度から約 1,000 頭増加し、年間で 3,220 頭（羽）の有害鳥獣が捕獲されました。平成 26 年度に設置した鳥獣被害対策実施隊は 70 名増え 331 名となりました。また、わな補助者の制度を活用し、免許所持者を中心に集落単位で地域ぐるみの有害鳥獣捕獲体制づくりを推進しました。

### 有害鳥獣年間捕獲数

内容	H24	H25	H26	H27	H28
イノシシ	459 頭	500 頭	1,058 頭	230 頭	432 頭
ニホンジカ	1,577 頭	1,741 頭	4,081 頭	1,684 頭	2,274 頭
ニホンザル	245 頭	161 頭	304 頭	191 頭	352 頭
カラス	143 羽	195 羽	124 羽	62 羽	104 羽
カワウ	-	14 羽	8 羽	4 羽	5 羽
ハクビシン	-	-	-	-	39 頭
ヌートリア	-	-	-	-	7 頭
アライグマ	-	-	-	-	1 頭
アナグマ	-	-	-	-	5 頭
ツキノグマ	0 頭	0 頭	21 頭	0 頭	1 頭
合計	2,424 頭 (羽)	2,611 頭 (羽)	5,596 頭 (羽)	2,171 頭 (羽)	3,220 頭 (羽)

### 【防除対策】

電気柵、檻に対して助成する防除事業(郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業)や、狩猟鳥獣を食材にするジビエの取り組みなどが進められました。

地域別被害額 (農作物)

(単位：千円)

地区名	H24	H25	H26	H27	H28
八 幡	16,415	13,222	14,437	7,918	11,837
大 和	6,991	10,100	9,548	7,180	6,529
白 鳥	4,472	4,280	4,301	4,186	2,901
高 鷲	4,968	6,082	6,881	2,800	1,874
美 並	11,215	5,971	4,150	4,787	3,669
明 宝	10,204	10,910	4,786	2,248	2,211
和 良	13,189	7,537	4,025	3,130	2,198
計	67,454	58,102	48,128	32,249	31,219

## ③ 利用の促進

### ■ 「高砂・粥川の森（美並）」の改修、「神路危険木除去（大和）」

美並町高砂において、自然に親しむ市内外の方々  
に保健休養の場として森林浴の提供をし、H27 には全  
国育樹祭のプレイベント「伐採式」を開催した高  
砂・粥川の森で、一部老朽化が進み、安全面での機  
能が低下している個所がみられたため木製手摺り  
の改修、大和町神路において、倒木の恐れがある危  
険木の除去を、森林環境税「里山林整備事業」を活  
用し実施しました。

(森林・環境基金事業)



木製手摺り改修（美並）

### ① 団地化の推進と機械化

#### ■ 高性能林業機械等の導入

平成28年度には、2事業体がプロセッサを購入し、効率的な森林施業の体制を整備しました。

高性能林業機械の保有状況（28年度末現在）

プロセッサ	ハーベスタ	タリヤーダ	スイングヤーダ	計
10台	4台	1台	11台	24台



プロセッサ

### ② 路網の整備

#### ■ 林内路網の整備

林道を1,326m開設するとともに、作業路の開設は、事業体が行う加速化事業分も含めると75路線 29,462mが開設されました。

内容	H24	H25	H26	H27	H28
林道の開設	6,610m	1,618m	1,878m	1,284m	1,326m
作業路の開設	35路線 13,167m	54路線 21,477m	64路線 28,129m	88路線 27,871m	75路線 29,462m
林内路網密度	23.3m/ha	23.6m/ha	23.9m/ha	24.4m/ha	24.6m/ha

### ③ 森林の循環システムの構築

#### ■ 低コスト造林の検証

将来に亘る森林の多面的機能の維持及び持続的に木材資源を利用していくために、皆伐地における再造林・保育経費の低コスト化を検証・評価する事業（主伐・再造林実証事業）を平成28年度から平成38年度にかけて実施することとしました。

平成28年度は、古道市有林1.5haを皆伐し、852m<sup>3</sup>を搬出したほか、枝葉等161tが木質バイオマス燃料として搬出されました。



古道市有林（皆伐後）

① 加工・流通体制の整備、商品の開発

■ 大型製材工場への原木安定供給

大型製材工場が平成 27 年 9 月に本格稼働を始めてから、市内の木材需要が増加しています。年間 5 万 m<sup>3</sup>、将来的には 10 万 m<sup>3</sup>の製材を行う計画です。

定期的に木材生産推進会議、原木需給調整会議が開催され、原木の安定供給に努めています。

長良川木材事業協同組合稼働状況 (原木納材・製材)

単位：m<sup>3</sup>

年度	H 2 7	H 2 8
納材	28,136	48,970
うち 市内	11,563	18,332
うち 市外	16,573	30,638
製材	27,077	50,509

② 公共施設の木造化、木質化の推進

■ 木造化の推進

八幡町の中野地区集会所が梁に丸太を使用するなど県産材をふんだんに使用し木造で新築されました。

(県産材需要拡大施設等整備事業)



中野地区集会所 (八幡町)

③ 木造建築の促進

■ 郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と市内への定住促進を図るため、『郡上市産材住宅建設等支援奨励金制度』に取り組みました。この制度は、郡上の木を 80%以上使って新築する場合などに 10~50 万円、増改築・リフォームする場合に郡上の木の使用量に応じて 20 万円までの奨励金を交付するもので、60 件交付しました。また、平成 28 年度から、店舗の新築・増改築・リフォームも対象としました。



郡上市産材を使用した住宅



(郡上市産材住宅建設等支援奨励金事業)

内容	H25	H26	H27	H28
交付件数	52 件	54 件	52 件	60 件
郡上市産材 80%以上使用	83%	80%	81%	81%
新規定住につながったもの	31%	46%	48%	41%

#### ④ 森林資源の利活用促進

##### ■ 地域材を活用した木質バイオマスエネルギーの利用

明宝地域において、地域内の森林資源を活用した木質バイオマスエネルギー循環システムの構築を目指し、明宝温泉、明宝デイサービスセンターで 1,792m<sup>3</sup> 郡上市産材を使用した住宅利用しました。

##### ■ 薪ストーブ購入補助制度の活用

平成 23 年度から開始した薪ストーブ購入補助制度の平成 28 年度申請交付件数は 35 件 (うちペレットストーブ 10 台) でした。平成 25 年 3 月から事業施設 (農業用施設・作業所等) も交付対象としています。

(森林資源活用事業)

	H24	H25	H26	H27	H28
申請交付件数	40 件	37 件	36 件	40 件	35 件

※税込本体価格 20 万円以上の未使用の薪ストーブ及びペレットストーブで、市内の業者 (代理店や工務店等) から購入し、自宅や会社、農業用施設や作業所等に設置するストーブ本体が助成対象です。補助金額は、薪ストーブが対象経費の 3 分の 1 以内 (10 万円を限度)、ペレットストーブが対象経費の 4 分の 1 以内 (5 万円を限度) です。

##### ■ 木の駅プロジェクトの推進

林地残材の有効活用と地域内商店等の活性化を目的として実施されている『木の駅プロジェクト』は、平成 28 年度は 2 団体で実施されました。

(森林・環境基金事業)



たかす木の駅会議

団体別搬出量 (単位: t)

団体名	H26	H27	H28
白鳥町木の駅プロジェクト実行委員会	3.8	22.6	-
たかす木の駅会議	198.4	157.1	105.0
小川里山クラブ	59.2	53.6	-
口明方木の駅実行委員会	20.0	20.0	20.0
計	281.4	253.3	125.0

## ① 学校教育との連携

### ■ 森林環境教育の推進

市内 7 つのみどりの少年団へ助成金を交付して活動支援を行いました。

小中学生を対象に、林業グループ、林業普及指導員、市職員が林業体験や森林教室を行いました。

また、NPO法人つくしん棒の間伐材を利活用し、既存の学習机に脱着式で設置する保護天板

「YUME I T A」で ForestGood2016～間伐・間伐材利用コンクール～ 製品づくり・利用部門で、間伐ネット会長賞を受賞しました。和良小の児童を対象に、「YUME I T A」の作成を通じ、木とのふれあい、山やも森について講話しました。



YUMEITA プロジェクト（和良町）

## ② 市民への普及・啓発

### ■ 郡上市みどりの祭り、企業の森づくりを同時開催

白鳥町二日町「高平延年の森公園」において、植林活動などにより森林保全を実現するブラザー工業㈱の「ブラザーの森郡上・植林ツアー」と、郡上市の将来を担う子どもたちと一緒に、各種体験を通して森林保全の重要性を考えていく「郡上市みどりの祭り」を同時開催しました。当日は、ブラザー工業㈱の職員、北濃小、牛道小、

相生小の児童、林業関係者等約 300 人が参加して、タムシバ、コナラ、ブナなどの広葉樹約 350 本を植樹しました。昼食時には、郡上市産品を味わい、午後からは薪割体験やクラフト体験、森林散策などを楽しみ森と親しみました。



当日の集合写真（白鳥町）

## ■ 森の通信簿事業

簡単な調査手法により森や川を点数評価し、森林の健全度を理解する「森の通信簿」の事業が白鳥町二日町地区、大和町古道地区で行われました。



「森の通信簿」実施状況（白鳥町）

## ③ 林業グループ等団体の育成、強化

### ■ 林業グループの育成、強化

市内で活動する林業グループへ助成金を交付して、活動の支援を行いました。また、各林業グループの活動や会議等に参加し情報や課題を共有しました。

（林業グループ活動育成等事業）



活動の様子(ネイチャークラフト体験)

交る

## 7. 地域を支える人づくり

### ① 地域座談会の開催

#### ■ 森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な推進課題を検討するため、市民、林材業関係者、行政等により組織された郡上市森林づくり推進会議を開催しました。平成28年度は、ゾーニング、人材育成について検討しました。



森林づくり推進会議の様子

### ② 下流域との交流の促進

#### ■ 企業の森・上下流連携

平成20年に締結された県、市、ブラザー工業の3者協定に基づき、高平延年の森で春・秋の2回植樹活動しました。この活動は、環境保全活動に関心の高い企業に市内森林において地域住民とともに森林保全活動に参画・貢献してもらうものです。



ブラザーの森植樹

## ■ 長良川源流の森育成事業

郡上漁協主催のもと、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の水涵養と、「山から川へ、そして海へ」と続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、八幡町市島地内において広葉樹の植樹を行いました。平成28年度で7回目となり、120名の方が参加されました。

## ③ 地域資源を生かした交流

### ■ 東京都港区との交流

みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか74自治体）の首長が集い、みなと森と水サミット2016が東京都港区で開催されました。

郡上市においては、郡上市産材を使用した製品の普及を目的として、19事業者がuni4mに登録しています。

## 担う

## 8. 林業を支える人づくり

### ① 雇用環境改善への支援

#### ■ 市産材製品支援

市産材を使用した木製品の普及促進を目的として、1事業体に対し、2名の雇用支援と1名の処遇改善支援を行いました。

#### ■ 郡上の山ぬし自力間伐講座の開催

森林所有者を対象に、間伐の理論とチェンソーを使った安全作業の講習会が開催されました。これは森林・環境税を活用した「木の駅プロジェクト」の一環で、受講者はチェンソーの使い方などの講義を受け、市有林で実習を行いました。



間伐講習の様子

### ② 森林技術者の育成と技術の継承

#### ■ 人材育成研修への参加・支援

林業に関する担い手の育成のため、県内で各研修が行われました。施業プランナー研修は平成28年度までに市内5つの林業事業体から15名（平成28年度に1名中座）が受講されました。その他、平成28年度は、フォレストワーカー研修等に計11名が受講されました。

市では、8 事業体及び 1 高等学校の延べ 409 名に対し、研修費用を助成し専門的な知識及び技術習得を支援しました。(森林・林業人材育成事業)

## ■ 緑化功労者表彰

緑化活動に長年貢献したことが認められ、郡上市から 1 名が表彰を受けられました。

緑化功労者 岐阜県緑化功労者表彰「会長表彰」	熊崎 尚毅 (敬称略)
---------------------------	----------------

## ■ 資料 郡上市の森林・林業

1. 森林の概況
2. 間伐実施状況
3. 県内他市町村との比較
4. 林業・木材産業の動向
5. 林業の担い手等の動向

## 1. 森林の概況

- 市総面積の約 9 割が森林 ※表 1
- 森林の 97%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 ※表 2
- 民有林人工林の蓄積量は 16,315 千 $m^3$ で資源が充実 ※表 3
- 人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い
  - 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
  - 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
  - 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度
- 人工林の 82.7%が間伐対象林分 (3~12 齢級=11~60 年生) ※表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合

単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,079	92,424	1,739	8,916	89.7%

[表 2] 所有形態別森林面積

単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 (割合%)	81,661 (88.3)	8,288 (9.0)	2,475 (2.7)	92,424 (100.0)

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量

単位：千 $m^3$

区分	人工林			天然林	合計
	12 齢級まで	13 齢級以上	計		
蓄積量 (割合%)	12,432 (56.6)	3,883 (17.7)	16,315 (74.3)	5,638 (25.7)	21,953 (100.0)

[表 4] 民有林人工林齢級別面積

単位：ha

区分	1~2	3~7	8~9	10~12	13~	合計
面積 (割合%)	236 (0.5)	8,201 (16.5)	12,456 (25.1)	20,402 (41.1)	8,333 (16.8)	49,628 (100.0)

## 2. 間伐実施状況

- 平成 28 年度は、約 1,500ha の間伐を実施
- 郡上市は県全体間伐実施量の約 18%を実施

間伐実績

単位：ha

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
郡上市	3,236	3,023	3,093	3,078	2,630	1,967	1,435	1,103	1,346	1,545
県全体	14,559	14,428	14,373	14,284	14,000	12,400	8,382	8,598	9,840	8,591

(県)新緊急間伐推進 5 ヶ年計画

(県)間伐推進加速化計画

(県)間伐推進加速化計画(改訂)

## 3. 県内他市町村との比較

総森林面積 ha

1	高山市	200,729
2	郡上市	92,424
3	下呂市	78,487
4	飛騨市	74,028
5	揖斐川町	73,447

民有林人工林面積 ha

1	郡上市	49,628
2	高山市	45,267
3	下呂市	33,443
4	中津川市	23,282
5	恵那市	20,824

民有林人工林蓄積 千m<sup>3</sup>

1	郡上市	16,315
2	高山市	12,389
3	下呂市	12,128
4	中津川市	6,831
5	揖斐川町	6,306

年間除間伐実施面積 ha

1	郡上市	1,441
2	下呂市	1,411
3	高山市	1,204
4	恵那市	836
5	関市	723

年間造林実施面積 ha

1	郡上市	66
2	本巣市	31
3	大垣市	18
4	高山市	12
5	中津川市	10

森林作業道等開設実績

1	下呂市	79 路線(42,685m)
2	高山市	57 路線(37,410m)
3	郡上市	90 路線(28,121m)
4	東白川村	42 路線(17,591m)
5	七宗町	15 路線(14,092m)

林道路線数

1	郡上市	275 路線 (611,950m)
2	高山市	275 路線 (598,067m)
3	下呂市	212 路線 (520,873m)
4	中津川市	202 路線 (512,154m)
5	恵那市	135 路線 (321,859m)

森林技術者数

1	郡上市	163 人 (22 事業体)
2	高山市	160 人 (24 事業体)
3	中津川市	76 人 (12 事業体)
4	下呂市	70 人 (14 事業体)
5	恵那市	61 人 (11 事業体)

平成 27 年度版 岐阜県森林・林業統計書より



#### 4. 林業・木材産業の動向

	H 2 6	H 2 7	H 2 8	備考
主伐面積・材積	127.0ha 48.6千m <sup>3</sup>	105.2ha 54.7千m <sup>3</sup>	123.3ha 81.6千m <sup>3</sup>	林道・作業路の 支障木伐採等を 含む
間伐面積	1,102.75ha	1,346.25ha	1,545.11ha	
うち利用間伐 (造林補助)	575.0ha 21.4千m <sup>3</sup>	916ha 33.3千m <sup>3</sup>	1,025ha 21.4千m <sup>3</sup>	
素材生産量	70千m <sup>3</sup>	88千m <sup>3</sup>	103千m <sup>3</sup>	
木材流通量(2市場)	39千m <sup>3</sup>	52千m <sup>3</sup>	53千m <sup>3</sup> (18m <sup>3</sup> 直送含む)	
原木加工量	9千m <sup>3</sup>	31千m <sup>3</sup>	50千m <sup>3</sup>	
シイタケ生産量 (生・乾)	286.6t	303t	—	
住宅着工数(木造)	108戸	105戸	戸	

#### 5. 林業の担い手等の動向

	H 2 6	H 2 7	H 2 8	備考
林業就業者数	164人	163人	—	
林業総生産額	1,296百万円	1,322百万	—	
林道・作業道開設実績	1.9+28.1Km	1.5+27.8Km	1.3+29.5Km	
路網密度	23.9 m/ha	24.2 m/ha	24.6 m/ha	